

酪農とちぎ



初冬から 締め師走

冬の使者ハクチョウが、今冬も大田原市の羽田沼に飛来し、連日カモ達と大田原市の自然をのんびり満喫しています。

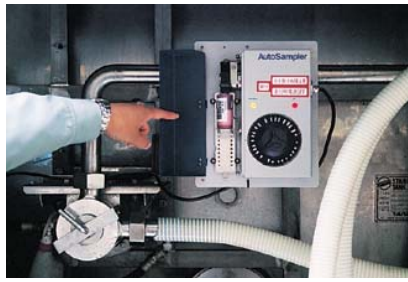
月日が経つのは早く、今年も世界的な異常気象・テロ・核・地震・犯罪・コイヘルペス…等々の暗い話題を残し、師走を迎えました。また、先日の「足利銀行破綻・一時国有化」のニュースは衝撃でした。地方銀行の雄とし一〇八年の歴史と共に、本県経済の動脈として貢献された、あしぎん崩壊による連鎖影響が心配です。皆さんには、何かと忙しい中の農作業と察しますが、「冷静さ」は保ちたいものです。



受送乳システムの合理化推進

オートサンプラーの導入・受信箱設置

組合は、各部毎に合理化計画を策定し実行しておりますが、今回は集乳車両にオートサンプラー機の導入を行い、バルククーラーからの牛乳サンプル採取方法が自動化されました。



オートサンプラー

内の乳量を入力するだけで生乳流量の一部が自動的に採取できます。

今回二十二台を導入したことにより四十七台の全集乳車両に装備しました。
また、生産者と組合との連結ポスト「受信箱」を全戸に設置しました。



この「受信箱」は、文書を置くスペースの他、検査サ

ンプル瓶を保管する収納スペース・受乳伝票を保管する状態などが付いており、デザインよりも機能性を重視した設計であります。文書入れは、組合より配付する書を入れるほか、組合へ送付する文書等を入れておけば、集乳担当者が組合まで運ぶシステムとなっております。サンプル瓶入れには、翌日の乳質サンプル瓶が保管して

ありますので、ご自身の物か念のため確認して下さい。組合員バーコードはハンディターミナルで組合員を特定する為と、乳質サンプル瓶が間違いなく本人の物が認識

大田原市議・黒羽町議選に 本組合員二名が上位初当選

任期満了による大田原市議及び黒羽町議選挙が十一月十六日、二十三日に行われました。本組合員

するために設置をするものです。これらは、トレーサビリティの一環として行なっておりますので、ご活用下さい。

大田原市議



相馬 大蔵氏



引地 達雄氏

三名が立候補、激しい選挙戦を見事に勝ち抜き、大田原市議に引地達雄氏と相馬大蔵氏が、また、黒羽町議に高崎和夫氏が上位初当選を果たされました。

皆さんと共にお祝いを申し上げ、更なる市・町政におけるご活躍をお祈り申し上げます。

黒羽町議



高崎 和夫氏



『トレーサビリティ制度』の実施

出生・異動報告が義務化

消費者の食に対する信頼回復をめざし、関係法令の改正や政府・省内の組織再編が実施されており、本組合でも、既に関係法令の改正により「生産履歴記録の励行」をお願いしておりますが、牛トレーサビリティ法が十二月一日より施行されました。

消費者にとっては、購入する牛肉の情報入手が可能になることは、大きな安心材料になります。また、消費者の牛肉への理解が深まり、需要の増加が期待されております。本組合においても、制度の周知徹底及び円滑な実施を図るために、各支所説明会を開催したところで、尚一層理解を深めて頂くよう、制度の概要を整理したいと思います。

一 法定の趣旨

BSEの蔓延防止措置の確実な実施、牛肉の安全性に対する信頼回

二 制度の概要

生産段階の取組み

- ア 国（独家畜改良センター）による個体識別台帳の作成
- イ 牛所有者等の「管理者」による耳標の装着及び出生・輸入の届出（出生年月日、性別、母牛の個体識別番号の報告）
- ウ 異動（譲渡し・譲受け・死亡）報告の届出（年月日、相手先コード又は氏名等の届出）
- ア、ウは、牛個体識別システムにより実施しておりますが、報告内容及び様式が変更されます。
- ウについて、相手先が不明の場合は、酪農協等又は家畜商のコード（電話番号）を記入して

下さい。

また、耳標の再交付方法が変更されます。電話音声応答システム・パソコンでの対応のみ（FAX対応不可）となりますので、ご注意願います。

報告内容の修正は、所定の様式が示されております。出生・異動報告内容を確認してから、報告されるようお願いいたします。

と畜段階の取組み

- ア 個体識別センターへのと畜年月日等の届出
- イ 牛肉引渡し先へ個体識別番号の伝達
- ウ 伝達情報の記録・管理
- 流通段階の取組み
- ア 販売先へ個体識別番号の伝達
- イ 伝達情報の記録・管理
- のイ、ウ及び、のア、イは平成十六年十二月一日より実施されます。

実施にむけた準備及び手続き

牛トレーサビリティ制度を円滑に進めるには、既存牛の再届出が必要となります。再届出の方法は、

既存牛リストの提出（十二月一日現在の繋養牛確認）です。

なお、直近の繋養牛が記載されておりますが、不明な項目や記載されていない繋養牛は、加筆して下さい。この再届出により、酪農家に繋養されている牛の記入漏れが大幅に修正されます。

しかし、出荷販売牛等のエラーは、修正されませんので、引き続き既存牛リスト修正のご協力をお願いいたします。

制度実施について

十二月一日以降、速やかな耳標装着及び各種届出をお願いします。また、法制度化により義務化となりますので、担保措置として罰則規定が設定されております。制度の趣旨をご理解の上、円滑に実施されるようご協力をお願い致します。

制度に関するお問い合わせは、本組合又は関東農政局栃木農政事務所（本所）安全管理課《〇二八一六三三—三三三—》までお願いします。



海外研修報告

粗飼料生産地視察レポート

全酪連粗飼料事業推進研究会主催による粗飼料事情調査員として、九月九日～十八日にかけて米国の粗飼料生産地及び酪農家を視察してまいりましたのでご報告します。

酪農家視察は、米国北西部ウイスコンシン州で二戸の視察を行いました。搾乳頭数では五五～六〇頭と、日本と同規模でしたが、牛群は一万kgを越えるもので、その飼養管理、繁殖管理の考え方には感銘をうけました。

見慣れた日本の酪農家と異なるところは、圧倒的な面積の自給飼料基盤に支えられた経営であるというところで、日本なら例外なく購入に頼る穀物でさえ自給で補うところに、日米間の大きな違いを感じました。

粗飼料生産地視察は、ワシントン州、カリフォルニア州の関連サプライヤーの圃場を見てまいりました。ワシントン州のアルファル



状況でした。カリフォルニア州インペリアルバレーはメキシコ国境近くに位置する地域で

フア、チモシーはスプリングクラーク灌漑を利用し栽培が行なわれていました。アルファルファの一番刈りは、南部地域でレインダメージが多く、二番刈りは順調に収穫されました。三番刈りはやはりレインダメージが発生していたようでした。視察時は四番刈りが半分ぐらい終了し、作柄はやや回復するも、全体的に雨被害が大きくなっていました。国内向けの売れ行きは米国内の乳価低迷により良くないそうです。コロンビアベアスのチモシー一番刈りは天候に恵まれ良品が多く、順調に収穫されました。エレンズバークでは一部降雨による影響がでています。問題は少ないと思われませんが、全体的に品質は良いのですが、連作によりブルーグラスの混入が目立つ



スーダン、クレイニングラス、バミューダ等が栽培されています。スーダンはほぼ収穫が終了し作付面積

は前年より10%増とのことでしたが、一番刈りの品質は下草の混入があまり良くななく、茎の質に安定性がなかったようです。色抜け物も少なく、八月後半より断続的に降雨がありレインダメージが発生していました。これらのことから優良品の供給は困難な状況と思われる

中・北カリフォルニアも春先に気温の低い状態が続き、クローツプスケジュールが遅れ、そのため作付物の変更があり、スーダンも影響を受け作付けが減少しました。一番刈りは終了し、二番刈りは九月の天候次第ですが、作付面積や収穫量の減少に反し需要が高く「価格が高騰するのでは」と予想しているようでした。茎の太さは

安定しているものの、色はミディアム・スタンダードがほとんどです。クレイニングラスは前半安定して良品が収穫できましたが、七～八月にかけて湿度のストレスがかかったのか、やや品質が低下しているとの事でした。数量については若干少ないようでした。バミューダは種子刈り取り後の一番刈りが終了した状況で、品質は昨年より劣りますが、ストローとしては安定供給できるでしょうとの事でした。

サプライヤーの工場視察では等級別品質管理、異物除去等品質管理の徹底には大変気を使い努力しているのが分かりました。工場では購入側からの情報収集にもかなりの関心があり、お互いの情報交換が大切であると認識しました。現地を視察し感じたことは、広大な圃場、灌漑方法、大型の機械設備、作業の効率化などで、どれをとっても驚きと感心の連続でした。現地を見聞体験し、視野が広がったことは何よりの収穫と思っております。雑なレポートとなつてしまいましたが報告とさせていただきます。(後藤 時夫)



東西南北

那須高原支所

第二回那須高原支所ボウリング

去る十一月十三日に支所活動秋のイベント、ボウリング大会を開きました。今回はボウリング競技終了後に参加者一同が会する懇親表彰パーティーを企画しましたところ、百六十八名の参加をいただき、支所活動として盛大の内に無事終了することが出来ました。



表彰パーティーでは「那須だいきすき牛乳」による乾杯に始まり、個人別の成績表が配付され、入賞者には冬支度に向けた賞品が贈られました。和

願います。

なお、今後の支所活動の予定ですが、十二月初旬から中旬にかけて、第二回目の畜舎環境調査を実施する予定です。一回目の改善事項を参考に、年末に向けて環境美化に取り組んでください。日程については文書でお知らせしますの

宇都宮支所

地区の組織活動報告

【視察研修会】

南那須町女性会は十一月十一日に、那須南地域酪農組合小川支部は十一月十九日に両地区とも塩原町「和田牧場」を視察しました。



家族労働を見据えた機械化
・自動化施設
等を見ながら
丁寧な説明を
頂き、後継者
問題、他業種
との比較等酪

農業の良さや、課題等を話しながら予定時間を超える熱心な研修となりました。

【農林業、農協祭出店】

高根沢酪農部会は十一月九日のJAしおのや農協祭に、宇都宮市酪農組合は十一月十五、十六日の二日間、宇都宮市農林業祭に牛乳、乳製品の販売をしました。高根沢部会は天気には恵まれませんでしたが、多くの消費者が訪れ、テント前は賑やかでした。特に宇都宮市酪はカーフハッチに哺乳牛を入れてテント前においたことから、子供たちや家族連れには大持てでした。閉店時にはいつもと違った疲れを感じさせられたものの充実感のある出店でした。

栃木県南支所

食の安全をテーマに

二宮町民劇団「ラク」による「食品安全いんかい？」の演劇が、去る十月二十五日地元で開かれました。今回の脚本・演出は、同町組合員の松山秀夫さんによるものです。



劇の内容は、食の安全性をテーマにしたながら、三世代同居家族を通じた愉快な会話で劇

は盛り上がり、観客の笑いを大いに誘いました。無農薬の自家栽培野菜が家にあってもスーパーで買いたい大根を買ってくる嫁。聞いたことのあるような場面が登場し、安全で安心できる農畜産物の生産を中心に、輸入農産物問題、農業の大切さが分かりやすい内容で伝わり観客を引き込みました。

七歳から七十歳までの団員が四ヶ月にわたる特訓の末、舞台上立つ姿は堂々としたもの。

その中には松山さんのお父さん、松山伸二さん（七十歳）が一家のおじいさん役として好演されました。今後の劇団のさらなる活躍を期待するとともに、食の安全について消費者の関心と一層の理解が得られると思われれます。



部課だより

生乳販売部

都府県における生乳生産量は、九月上旬、中旬が厳しい残暑となったため、牛体の夏バテや死廃頭数の増加により急激に落ち込みました。

しかし、九月下旬以降は涼しくなり生産は回復傾向となつてきており、その傾向は直近の十一月まで続いています。九月の前年比は九八・五%、関東についても九六・七%と更に減少率は大きくなりましたが、十月に入り生産が回復傾向に向かったことから、九九%と減少に歯止めが掛かったものと感じます。

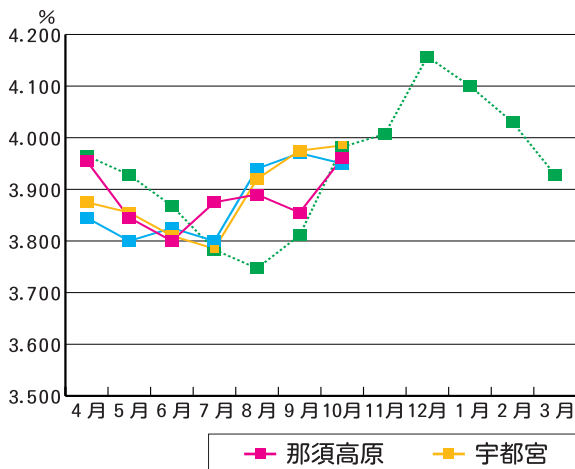
北海道は九月についても前年比一〇二%と、更なる規模拡大の進展と良質な粗飼料が確保されたことにより生産の好調を維持しており、上半期累計でも前年同期比で一〇二%と前年を大きく上回っています。

一方、用途別販売実績をみると、上旬・中旬の残暑が続いたことから、

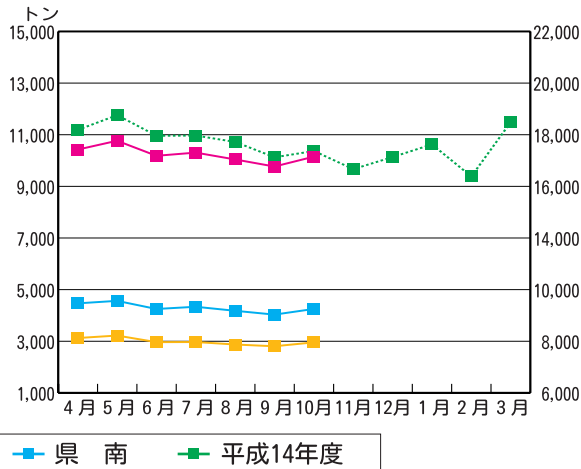
飲用牛乳向け販売量は前年比九九・六%、醗酵乳等向けが一〇三・二%と回復傾向が見られたものの、九月

下旬より気温が低下し需給が緩和傾向となり、十月に入ってもその傾向は続き、年末年始の不要期に向か

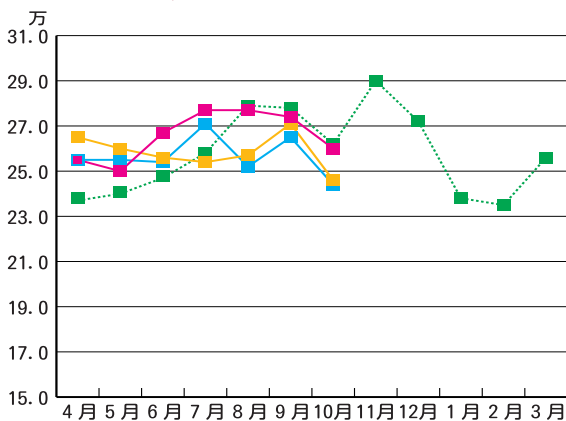
◆ 脂肪率の推移



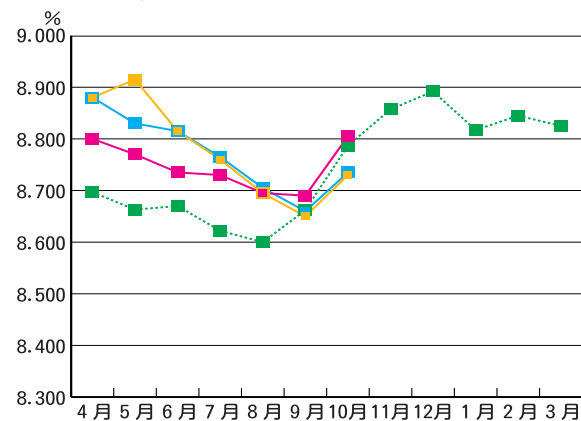
◆ 乳量の推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



い需給は緩和傾向となっています。関東では特定乳製品向けが九月において前年比一五一・二%、十月は四〇五・五%と大幅に増加しています。バターの在庫については二万七千九百七とほぼ適正な量となっていますが、脱脂粉乳は還元乳消費の減退に加え、十三年度下期からの製造量増加により、在庫の積み増し傾向を示しており、八月末の期末在庫量は前月より千八百七増加し八万三千九百七（前年比一一四%、適正在庫の二・六倍）となり、酪農乳業情報センターの予測では年度末在庫量は九万六千四百七まで達すると見込まれています。計画生産が開始された昭和五十四年度の在庫量が八万三千七だったことから、いかに脱脂粉乳の在庫が膨大な量となっているかが伺えます。脱粉在庫量の推移によつては計画生産に大きな影響が出ることから、国は「脱脂粉乳過剰在庫対策」を講じていますが、その効果は限定的なものになっている模様であります。そのためか、北海道においては計画目標数量をオーバーし



た場合はkg当たり四十円のペナルティ措置を打ち出すなど、在庫解消に向け対応を進めております。関東生乳販連も在庫解消に向け、対策等を検討しているところです。

組合の生産量は九月中旬・下旬において生産が大きく落ち込んだことから、九月は前年比九六・七%と停滞しましたが、十月に入り急速に回復傾向となったことより前年比九九・六%と堅調な生産状況となり、直近においてもその傾向が続いており順調な生乳生産状況となっております。

支所別で見ると、宇都宮支所が九月は九九・二%、十月は一〇〇・六%と七月にから堅調傾向が続き、県南支所も、九月が九七・一%だったものの十月は一〇〇・五と、回復傾向を示しています。また、那須高原支所についても九月は九八・四%（組合員異動修正後）が十月は一〇一%と回復し各支所とも十月となり回復傾向となっております。

乳質は、無脂固形分率が九月は平均で八・六八%、十月は八・七八%

と前年を上回り、脂肪率についても九月は平均で三・九一%、十月は三・九六%と向上、細胞数においても前年より改善されております。九月、十月の乳量及び乳質成績は6分のとおりです。

酪農部

出合い・ふれ愛の会

酪農とちぎ青年部（後継者）は、栃木県青年会館結婚相談所（とちぎピサ）の協力を得、去る十月二十六日、ふれあい牧場にて、「出合い・ふれ愛の会」を開催しました。

この会は、青年部（後継者）の独身者と、とちぎピサの会員及び新聞等による一般募集で参加を募り親睦を深める交流会で、後継者二十二名、女性二十名の参加がありました。

当日は晴天に恵まれ、ふれあい広場に設置した会場で、お互いのプロフィールカードを交換しながら自己紹介や会話の他、バター作りやパーベキュー、グループ・レクリエー

ション、フリータイム等を通して、和気あいあいと参加者同士の歓談が由来しました。

結果は、当日五組、後日交際の申し込みが一組あり、計六組のカップルが誕生し、参加された皆さんは、有意義な一日となった様でした。

今後は、継続実施の要望があることから、より充実した交流会を検討したいと存じます。また、女性の参加につきまして、皆様のご協力をお願い申し上げます。



ふれあい牧場での歓談風景

11月ホクレン初妊牛市場成績

〔単位：頭、千円（税込）〕

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	体重別					
				~350	351~400	401~450	451~500	501~550	551以上
根室	11月6日	385	467	3	23	104	182	53	20
十勝	11月11日	565	477	10	52	116	209	134	44
豊富	11月13日	314	456	15	28	106	102	47	16
釧路	11月19日	249	479	7	21	40	78	90	13
根室	11月20日	390	471	7	21	95	169	80	18
北見	11月26日	488	489	7	22	75	207	111	66
十勝	11月27-28日	587	500	7	40	91	135	195	119
合計		2,978	479	56	207	627	1,082	710	296
前月		2,564	478	51	154	527	946	710	176
前年同月		3,093	438	189	488	1,082	998		336

家畜市場成績

平成15年11月

〔単位：円（税込）〕

市場名	種別	成立頭数	平均体重	価格		
				最高	最低	平均
西那須野 十五日	ホルス雄	126	-	66,150	1,470	38,644
	F1雄	70	-	160,650	5,040	111,147
	F1雌	54	-	95,550	18,900	50,108
館林 十七日	ホルス雄	11	69	63,000	40,000	48,636
	F1雄	13	70	181,000	106,000	131,308
	F1雌	20	69	107,000	3,000	78,350



理事会だより

十月度理事会

報告事項

- (一) 資金貸付について
 - (二) 十月分生産者支払暫定乳価について
 - (三) BSEについて
- 協議事項
- (一) 九月度及び上半期事業実績について

十一月度理事会

報告事項

- (一) 資金貸付について

協議事項

- (一) 十一月分生産者支払い暫定乳価について
- (二) 上半期監査報告
- (三) 十月度事業実績について
- (四) 制度資金貸付について
- (五) 那須高原支所・CS新設について
- (六) ふれあい牧場整備事業について
- (七) 専門委員会開催について

お知らせ

祝ご結婚

馬頭町の平野修身さんの後継者直美さんが、十月二十六日に新郎

智さんを迎えられご結婚されました。末永くお幸せに。

毛塚秀雄さん(石橋町)人命救助により消防本部から表彰

九月十五日サッカーの試合中に倒れた大学生を、毛塚さんが友人と人工呼吸し、人命を救った功績に対し表彰を受けられました。

毛塚さんは、表彰に感謝しその時の気持ちを「救急車を待つ間に呼吸が停止した青年をなんとかしたいと無我夢中の五分間で」と話されました。

春夏秋冬



この秋の自民党総裁選で、小泉首相支持に回った政治家を、当時野中氏が皮肉って言った言葉「毒まんじゅう」、そして衆院選で各党が打ち出し話題となった「マニフェスト」、テツ&トモの「なんだろう」が今年の流行語大賞に選ばれた。星野監督の「勝ちたいんや」は、十八年ぶりの優勝に沸いた阪神ファンの心境そのものであり、「サーズ」は今年の春先突然流行した新型肺炎で、治療方法が確立されていないことからたいへんな脅威であった。「バカの壁」がベストセラーになってゝの壁

がやはり、「こめ泥棒」「年収三百万円」「ピフォーアフター」「へ〜」など今年を象徴する言葉がつづく。

この頃は同じような事件がまとまって起きることがよくある。

おれおれ詐欺事件・高速道路逆走事件・長い踏み切り取残され事件など、今年とりわけ注目されたのは収穫物の盗難事件である。長い間手塩にかけてやっと収穫期を迎えた頃を見計らって持って行かれるのだから被害者にしてみればたまったものではない。やはり報道や情報の伝達がヒントになっているとも思われる。

六月に発売を開始した「那須だいた

き牛乳」は売り出した一〜二ヶ月間は順調に推移し、充分目標達成と思われたが、思いもよらぬ冷夏に苦戦を強いられている。

那須だいたすき牛乳に限らず、牛乳の売行きは全国的に低調で、需要期には原乳が逼迫するだろうと予想した春先の大方の見方が完全に覆されてしまった。当初から心配されていた脱粉の在庫積み増し(十一月現在で約八万トン)が現実のものとなり、今後の課題となっている。

二十四節気の大雪(十二月七日)が過ぎるとはや師走である。忘年会では大いに発散し来年(申年)に想いを馳せたいものである。(W)

とちぎファームフェスタ2005

マスコットキャラクター&シンボルマーク募集

「ミルクの国 とちぎ」にふさわしく、乳牛や牛乳・乳製品に関する明るく親しみやすいマスコットキャラクター&シンボルマークを募集しています。

A4判サイズの白紙を使用し、彩色は自由です。尚、詳細については、第十二回全日本ホルスタイン共進会栃木県実行委員会事務局(028)623-12587へお問い合わせ下さい。

応募先 〒320-8686

宇都宮市昭和一―八一十一

下野新聞社事業部まで

編集後記

こたつの季節がやってきました。現在ではストーブ、ファンヒーターや床暖房など色々あります。しかし、こたつには根強い人気があるようで、愛用されている方が多いと思います。そう考えると気になるのが、他にも暖房器具があるのに「何故こたつなのか?」という点です。小さな空間を暖めるため、即効性がある。近くに集まるため、コミュニケーションの場になる。抜けられなくなる。オプシオンとしてはミカン・鍋・年末番組など。こたつ最高ですね。そのまま眠って風邪はひかないようご注意ください。

